

第5回 高千穂通りデザイン検討会 議事要旨

1. 会議議事

- 日時：2025年3月21日 14:00～16:00
- 場所：宮崎県防災庁舎 防75・76号室
- 出席者：別紙出席者名簿を参照

2. 議事要旨

(1) 第1号議案 高千穂通りのデザイン検討について

事務局より、検討項目ごとの内容について、資料1を用いて説明を行った。

各説明に対する委員の主な発言は下記のとおり。

(a) あずまや

- ・実施設計の際には、あずまやの基礎が露出しないように舗装との取り合いを検討するなど、あずまや単体ではなく、周辺環境も含めて総合的に設計をお願いしたい。

(b) 駐輪スペース

- ・短時間の路上駐輪は少なく、長時間の路上駐輪が多い印象がある。
- ・現状を見れば路上駐輪はあるが、将来的に自転車道が完成すれば歩道空間から自転車通行がなくなる。自転車通行が今後どうなっていくのか、現時点では見極めが難しいと思うので、街区ごとに整備されることを逆手に取って、状況の変化を確認しながら、どの手法が最適か検討を進めた方が良いのではないかな。
- ・お金をかけて駐輪スペースを設置したのに適切に使用されない状況になるのは避けたい。駐輪スペースを設置する場合は、沿道施設の管理者や利用者に丁寧にヒアリングを行って、必要な場所や数を十分に把握していただきたい。
- ・仮に設置する場合に、単純に四角いスペースを確保して白線で区切るだけでは、適切な使われ方はされないのではないかな。自転車に乗って駐輪スペースから歩道へ入ってくることがあると、安全な歩行環境の確保にならなくなる恐れがある。歩道空間と駐輪スペースの繋がり方や仕切り方は十分に検討する必要がある。
- ・近隣の既存駐輪場への誘導について、現地でのサイン表示、SNSやホームページを活用した啓発だけでは効果的な誘導につながらない可能性がある。放置自転車禁止区域の指定を併せて実施することで、指導員を介して、現地での案内や啓発、最終的には撤去というのも可能になり、効果的と考える。

(c) サイン

- ・街区の両端に設置するとのことだが、量が多くなるのではないか。全体のバランスも見ながら設置位置を検討してほしい。

(d) 照明等

- ・特になし。

(e) 自転車道（交差点）

- ・信号なしの交差点において、ゼブラ処理やポール設置の箇所があるが、区画線や仮設物は数年で劣化して汚損する可能性が高い。今後の維持管理の低減も考えて、自転車道の線形や縁石で区切るなど、メンテナンスがかからない安全対策ができないか検討をお願いしたい。
- ・NTT 前の街区は先行して自転車道が完成しているが、市道側からの流入車が本線合流手前で停止した際に、朝晩のラッシュ時はなかなか本線へ合流できずに自転車道や歩道を塞いでいる状況が発生している。今後、指導・啓発があるかもしれないが、施工が進展すると道路利用していく上で様々な問題が出てくると思うので、引き続き経過観察をお願いしたい。

(f) 花壇（レイズドベッド）

- ・特になし。

(g) 憩い活動スペース

- ・活用の仕方が限定されるような設えは避けた方が良いのではないか。使われ方は、利用する人に一定程度任せる方が使いやすく、スペースとしての余白を残した形で整備していただければと思う。

(h) 全体配置（ゾーニング）

- ・三次元空間を確認させていただいて、クスノキの緑陰が多いと感じた。暑熱対策として、あずまや以外にも工夫ができればより良い空間になると思う。

(2) 第2号議案 ほこみち制度の活用に向けた取組みについて

事務局および宮崎市より、資料2-1および2-2を用いて説明を行った。

委員の主な発言は下記のとおり。

- ・特になし。

(3) 第3号議案 今後の検討会について

事務局より、資料3を用いて説明を行った。

委員の主な発言は下記のとおり。

- ・特になし。